



宇佐市安心院町では、明治時代くらいから鰻絵（こてえ）が盛んに作られてきました。現在 100 件ほど鰻絵があり、観光資源として注目されています。

①鰻絵とは、何ですか。記事から言葉を探して説明してください。

(.....左官職人.....) が仕事道具である鰻を使い、(.....しっくい.....) の白い壁面に浮き彫りにした絵。

②鰻絵には、どんな願いが込められていますか。

家の(.....繁栄.....)や

(.....無病息災.....)。

③鰻絵は 100 年たっても鮮やかな色が残ります。その理由を記事から探してください。

しっくいに、土や岩、貝殻など自然の物から出した(.....色.....)を混ぜる「(.....練り込み.....)技法」を使っているため。



▲明治時代に作られた鰻絵「鶴に松」



### 安心院の鰻絵 = 宇佐市安心院町 =

鰻絵とは、壁や床などを塗る「左官職人」が仕事道具である鰻を使い、しっくいの白い壁面に浮き彫りにした絵のことです。雨戸をしまう戸袋などに多く作られました。家の繁栄や無病息災の願いが込められています。七福神の「えびすさま」は商売繁盛、虎は疫病よけ、鶴は長寿を表しています。

明治時代くらいから盛んに作られました。しっくいに色を混ぜる「練り込み技法」を使っているため、100年たっても鮮やかな色が残ります。当時は土、岩、貝殻など、自然の物を使って色を出していました。

安心院町には現在100件ほど鰻絵があり



▲ユニークな作品も多い



▲雨戸をしまう戸袋に作られた鰻絵

優れた技術を持つ左官職人の長野鉄蔵と14人の弟子がいたことなどから、多く残っているといわれています。時代を経て家の構造が変化し、技術のある人も減ったことで、昭和時代に入ると次第に減っていきました。

1993年に開かれた「鰻絵シンポジウム」をきっかけに、観光資源として注目されるようになったそうです。

2021年 11月 27日付  
GXジュニア 4面

④皆さんが住んでいる地域の「お宝」は何ですか？ 周囲の人に自慢しましょう。